

初 版

環境活動レポート

Eco Action 21



平成18年 3月

沖縄市八重島2-13-9
合資会社 沖縄浄管センター
代表社員 座間味 唯康

目 次

1. 事業の概要	1
(1)事業名及び代表者名	
(2)所在地	
(3)環境保全関係の責任者、及び担当者	
(4)連絡先	
(5)事業内容	
(6)事業年度	
(7)事業規模	
2. 環境目標と実 結	2
(1)環境負荷の現状	
(2)28期(平成17年8月から)半期の目標値	
3. 環境活動計画の主要内容	3
4. 環境保全への取り組みチェック結果	4
5. 環境活動の取組結果の評価見直し	5
6. 代表者による全体の評価と見直し	5
7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	5

【経営理念】

- 『地球にやさしい環境造り』の一環として、我々はまず
公共下水道のメンテナンスを通じ、地域・社会に奉仕いたします。
- 我々は、常に思いやりの心を持ち、お互いに精進し、
よりよい・豊かな生活の向上を目指します。
- 常に、相違・工夫に努め『亜細亜の住みよい環境造り』の
一端を担える企業を目指します。

合資会社 沖縄浄管センター
代表社員 座間味 唯康

関連会社
株式会社 おきなわ浄環技建
代表取締役 座間味 唯康

【 環境理念 】

御一人様、たった一回きりの人生(活動)の中で、「かけがえのない地球」とその「環境」の中で育まれている事に感謝し、自然と大地との共同作業の結果としての「大いなる実り」によってのみ「生かさせてもらっている」喜びに感動を覚え、大地に両足を踏ん張って、地球と共に生きて行きたい。

「自然」という良き環境の中でこそ生物は生かされ、その喜びを感じ得るものだ

「天然」に勝る人工物は無いのである

「自然環境」こそが人間の生を司る

「自然」にこそ感謝をするべきである

「自然・天然色」に乾杯、そしてバンザイ！！

たとえ生き延びる為の正当な事業活動だとしても、他人に“羨望”されるような企業活動をしているとしても、常に地球環境を破壊する事なく、その環境の保全にこそ事業使命を感じ、軸足を置いて行きたい。

“母なる大地”への感謝の想いこそが全ての事業活動より優先されるべきだし、企業こそがその念の実行者(しもべ)となれる。

そのような仲間達(会社)の輪の一端に居る企業で有りたい！

【 環境方針 】

我々は「かけがえのない地球」の環境を破壊する事なく、その環境保全を企業活動の原点に定め、その実施に全社員一丸となって取り組み、「地球にやさしい環境造り」に貢献します。

- (1)環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善・向上、及び環境汚染の予防に努めます。
- (2)事業活動を通じ「コピー用紙の再利用・消費削減」、「燃料及び電気の使用量の削減」による省資源・省エネルギーを推進します。
- (3)「廃棄物の発生抑制」、「分別・リサイクル」率を高め、環境負荷低減に努めます。
- (4)下水道浄化センターの浄化水、井戸水等の使用率を高め、上水道使用量の削減に努めます。
- (5)県の平成18年4月より実施される「産業廃棄物に関わる税」の導入が「廃棄物の削減」を主体目的としている趣旨をお客先に熱心に訴え、島しょ県「沖縄」の廃棄物の削減に努めます。
- (6)環境に関する法律・規則、及び条例等を遵守し、環境保全に努めます。
- (7)環境活動レポートを全社員に配布し周知徹底させ、環境保全の意識向上に努めます。

[改定履歴]

平成17年 8月 1日	発行

平成17年8月1日制定
合資会社 沖縄浄管センター
代表社員 座間味唯康

関連会社
株式会社 おきなわ浄環技建
代表取締役 座間味唯康

1. 事業概要

1) 事業社名及び代表者名

合資会社 沖縄浄管センター

代表社員 座間味 唯康

2) 所在地

本 社 沖縄県沖縄市八重島2丁目13番9号

那覇支社 沖縄県那覇市銘川322番地5号

関連事業所 株式会社 おきなわ浄環技建 本社 沖縄県沖縄市八重島2丁目13番9号
福岡支社 (現時点は営業の実態はありません)

※関連事業所(株)おきなわ浄環技建とは、連携して業務を行っており、本社も同一社屋のため、共同してEA21に取組んでいます。尚、代表者も同じです。

3) 環境保全関係の責任者及び担当者

統括管理責任者: 技術営業リーダー 大城 康

担当者: 現業部 リーダー 比屋根 一 ・ 現業部リーダー 中根 順二

担当者: 総務部 仲村 京美

4) 連絡先

本 社 TEL: 098(939)3915

FAX: 098-939-3916

那覇支社 TEL: 098(868)9876

FAX: 098-868-9916

5) 事業内容

- ① 公共下水道管渠等のTVカメラ調査及び維持管理業務
- ② 下水道処理施設や浄化槽の維持管理業務
- ③ グリストラップ、油水分離槽等維持管理業務
- ④ エアコン、貯水槽等清掃業務
- ⑤ 地中レーダー探査業務
- ⑥ リフォームに関する業務
- ⑦ 産業廃棄物収集運搬業務

許認可関連

- 一般建設業(管工事) 般-14第7943号(沖縄県)、○ 浄化槽保守点検業 第14-20号(沖縄県)、
- 建築物排水管清掃業 沖縄県中部保16排第2号、○ 建築物飲料水貯水槽清掃業 沖縄県コ保第12-貯-4号、
- 産業廃棄物収集運搬業 第4703046098号(沖縄県)

6) 事業年度

・期首: 8月

・期末: 7月

7) 事業規模

規模	単位	26期 H15.8~H16.7	27期 H16.8~H17.7	28期(半期) H17.8~H18.1
従業員数	人	22	17	20
車輛	台	20	18	18
売上高	円	143,029,408	135,932,286	66,368,917

※ これらは、本社及び関連事業所を含む数値です。

2. 実績と環境目標

1) 当社における過去3年の実績は以下の通りです。 (小数点第二位以下四捨五入)

		単位	26期(半期) H15.8～H16.1	27期(半期) H16.8～H17.1	28期(半期) H17.8～H18.1
総エネルギー投入量	購入電力	MJ	139,989.03	119,306.71	108,827.93
	化石燃料	MJ	606,376.38	457,449.72	418,385.61
温室効果ガス排出量	購入電力	kg-CO2	5,383.10	4,587.79	4,184.84
	化石燃料	kg-CO2	41,492.88	31,279.42	28,515.69
総物資投入量(産業廃棄物)		t	261.95	237.35	210.28
水資源投入量		m ³	968.00	503.00	378.00
廃棄物等総排出量(産業廃棄物)		t	261.95	237.35	210.28
廃棄物の最終処分、焼却の割合		%	99.44	99.14	99.89
総排水量		m ³	558.00	270.00	306.00

※実績は、取組み時期に合わせた半期の数値としました。

2) 28期 平成17年8月～平成18年1月までの目標値 (小数点第二位以下四捨五入)

		単位	26期 H15.8～H16.1(半期)	28期(-2%) H17.8～H18.1(半期)
総エネルギー投入量	購入電力	MJ/百万円	2,073.91	2,032.43(-2%)
	化石燃料	MJ/百万円	8,993.30	8,813.43(-2%)
温室効果ガス排出量	購入電力	kg-CO2/百万円	79.75	78.16(-2%)
	化石燃料	kg-CO2/百万円	615.30	602.99(-2%)
総物資投入量(事務所・薬剤)		kg	-	-
水資源投入量		m ³ /百万円	14.34	14.05(-2%)
廃棄物等総排出量(事務所)		kg	-	(29期より計測)
廃棄物の最終処分、焼却の割合		%	99.44	97.44(-2%)
総排水量		m ³ /百万円	8.27	8.11(-2%)
環境保全取組実施率		%	77%	79%(+2%)

※当社は27期より環境負荷低減に取り組んできており、具体的に取組み前と比較するため28期(半期)の目標は26期の同時期(半期)の実績を基に設定し取組みを行います。

※28期以降の中長期目標は、28期末の結果を基に設定します。

※廃棄物等総排出量:事務所のゴミについては、29期より計測します。

3. 数値目標を達成する為の活動計画

①総エネルギー投入量(大城 康)

エアコンは、夏場・室温28度C以上の場合のみ使用し、室温26度Cに下がるまでの運転にすると共に、常に『ドライ・弱』にて使用する。冬場のストーブの使用も同様に、間欠室温15度C以下の場合にのみ使用する。

- ・使用しない事務所内の各種電気付属機器の電源は必ず切るようにします。
- ・毎週土曜日を、NO残業デーと決め、事務所の照明を消灯します。
- ・事務所構内の電気工具による作業は、無駄がないようまとめて作業を行うようにします。

※車両燃料については、②の取組みを実施します。

②温室効果ガス排出量(比屋根一)

- ・アイドリングの禁止(出退勤時の自家用車にも摘要)を徹底します。
- ・急発進と空ぶかしをせず、安全運転を徹底します。
- ・車輛の給油時に、タイヤの空気圧の点検を行います。
- ・収集運搬ルートについて事前に計画し、効率的な運搬に努めます。

③産業廃棄物の最終処分場、焼却の割合(中根順二)

- ・管清掃時に発生する下水道汚泥は、含水率が高いので現場で可能な限り水切りを行い、排出量の抑制に努めます。
- ・産業廃棄物の最終処分及び焼却の割合を削減するため、排出事業者へ分別排出の啓発に努めると共に、自社排出の廃棄物についても、リサイクル率向上の検討等を行います。
- ・空き缶はアルミ缶とスチール缶に分別を徹底します。
- ・メモ用紙等の社内書類に関しては、裏紙の再利用を徹底します。
- ・紙についてはダンボール・新聞・コピー用紙の分別を徹底します。
- ・弁当の空き容器は自宅に持ち帰り、社内ゴミとして出さないことで、容器廃棄物に関する意識の向上を図ります。

④水資源投入量、総排水量(中根順二)

- ・高圧洗浄車の洗浄水には、社内の雨水タンクに貯水した水から使用します。
- ・現場地域の下水処理場処理水を、洗浄水として使用する施工計画を組むことで、上水利用の削減を図ります。

4. 環境への取り組みチェック結果

1) 自社に関係する環境保全に関する施策

取組内容	26期			28期		
	H15.8～H16.1			H17.8～H18.1		
	満点	チェック結果	取組実施率	満点	チェック結果	取組実施率
1. 事業活動へのインプットに関する項目	40	40	100%	54	52	96%
1) 省エネルギー、新エネルギー使用の拡大	12	12	100%	16	14	88%
2) 省資源、グリーン購入	18	18	100%	24	24	100%
3) 節水、水の効率的利用	10	10	100%	14	14	100%
2. 事業活動からのアウトプットに関する項目	114	94	82%	152	126	83%
1) 二酸化炭素の排出抑制、大気汚染等の防	18	16	89%	36	34	94%
2) 化学物質対策	6	6	100%	14	12	86%
3) 廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	66	54	82%	78	62	79%
4) 輸送に伴う環境負荷の低減	24	18	75%	24	18	75%
3. 環境経営システムに関わる項目	106	65	61%	116	70	60%
1) 環境保全のための仕組み・体制の整備	58	35	60%	58	35	60%
2) 環境教育、環境保全活動の推奨等	30	18	60%	40	23	58%
3) 情報提供、社会貢献、地域の環境保全	18	12	67%	18	12	67%
合計	260	199	77%	322	248	77%

当社は、主として上下水道のメンテナンス及び産業廃棄物収集運搬を行っており、特殊車両を使用した業務と、事務所での業務において関係する環境への取組み項目についてチェックを入れ採点しています。

【事業活動へのインプット項目のチェック結果より】

- ①省エネルギーについては、車両及びOA機器買い替え時期に対応していきます。
- ②省資源については、コピー用紙、トイレトーパー等の再生紙を使用致します。
- ③その他環境に配慮した物品等の購入については、エコ商品を使用致します。
- ④節水、水の効率的利用については、雨水の貯留タンクを利用致します。

【事業活動へのアウトプットに関する項目のチェック結果より】

- ①二酸化炭素の排出抑制、大気汚染等の防止については、空調の適温化を徹底致します。
- ②化学物質対策については、管理表を作り記録していきます。
- ③事務所の廃棄物の排出抑制については、書類等の控えはパソコンネットワーク内に保存し、ペーパーレス化に努めます。
- ④輸送に伴う環境負荷の低減については、安全運転に努め、ムリ・ムダをなくします。
- ⑤廃棄物の発生抑制と分別・リサイクルに積極的に取組み、環境負荷低減に努めます。

【環境経営システムに関する項目のチェック結果より】

- ①環境保全のための仕組み・体制整備については、環境保全上、必要な作業手順や運用基準等を明確に定めていきます。
- ②環境教育、環境保全活動の推奨等については、担当者だけで行うのではなく、社員全員で環境保全の勉強会等に参加します。
- ③情報提供、社会貢献、地域環境保全については、地域のボランティア活動に積極的に参加致します。

5. 環境活動の取組結果の評価及び見直し

1) 環境への負荷実績

(小数点第二位以下四捨五入)

		単位	26期 H15.8～H16.1	目標	28期 H17.8～H18.1	結果	評価
総エネルギー投入量	購入電力	MJ/百万円	2,073.91	-2%	1,638.97	-21%	◎
	化石燃料	MJ/百万円	8,993.30		6,300.99	-30%	◎
温室効果ガス排出量	購入電力	kg-CO ₂ /百万円	79.75		63.02	-21%	◎
	化石燃料	kg-CO ₂ /百万円	615.30		429.45	-30%	◎
産業廃棄物の最終処分、焼却の割合		%	99.44		99.89	0.45%	△
水資源投入量		m ³ /百万円	14.34		5.69	-60%	◎
総排水量		m ³ /百万円	8.27		4.61	-44%	◎
環境保全取組実施率		%	77%		+2%	77%	-

※環境保全取組実施率は同率となっておりますが、取組み項目自体を増やし取組んでいますので、評価は良としています。

今回、EA21により環境に関する具体的な取組みをすることで、このような成果を出すことができました。今後も継続して取組んでいきます。

尚、来期は産業廃棄物の最終処分及び焼却の割合を削減するため、リサイクル化の検討に力を注ぐ必要があります。

6. 代表者による全体の評価と見直し

我々は、2002年に社内にて「環境理念」を確立し、積極的に下記の項目を推進してきました。

- ① 雨水の貯留タンクを設置し、雨水利用を実施。
- ② 屋根上に雨水を利用して散水を行い、事務所内の室温の低減。
- ③ 事務所内の窓を全てオープンにして風を通し、更に窓の陽よけのルーバーをこまめに調整し、室温の上昇を防止。
- ④ 室温が、28度Cを越えた場合のみ、クーラーを使用するが常に「弱風・ドライ」使用にて省エネルギーに取り組む。

以上の実施については、特に女性事務員の多大なる協力の元で実施しています。今後も二酸化炭素の削減に多少なりとも貢献している事に、自負と誇りを感じつつも「経営理念」の実現に向け、社員一丸となって取組んでいきます。

7. 環境関連法規への違反、提訴等の有無

環境関連法規への遵守状況及び環境に関する苦情の受付状況は次の通りです。

内 容	結果
法律違反の有無	無
訴訟の有無	無
環境に関する苦情の有無	無